

4月4日(火)

神様の御前で生きる

聖書朗読 詩篇 15

こういうわけで、私たちは揺り動かされない御国を受けているのですから、感謝しようではありませんか。こうして私たちは、慎みと恐れとをもって、神に喜ばれるように奉仕することができるのです。私たちの神は焼き尽くす火です。

ヘブル 12 : 28~29

朝起きると「今日の自分の行動を決めるのは、誰か、または何か？」と自問します。日々の行動は、その人が自分の人生の最終的な目的としていることによって決まるものです。たとえば「神様とともに生きるためには、今日、自分がどうあるべきか？」と自問しながら毎朝目を覚ますとしたら、どうでしょう？

自分がどうあるべきかを自問することは、なにか違いを生むでしょうか？ 詩篇の作者は、違いを生むと考えました。彼はこの問いかけで詩篇 15 篇を始め、2 回問いかけています。そして、神様とともに生きるためにすべきことと、やってはいけないことを 10 個挙げています。善を追求するだけでなく、神様とともに生きるためには悪から離れなければなりません。

私たちは、よく自分の忙しいスケジュールに神様を合わせようとしています。「さて、今日はどうやって神様に時間を割こうか？」と自問していませんか？ そうではなく、もっといい問いかけがあります。それは「どうすれば、常に神様とともに暮らせる人になれるか？」というものです。ヘブル人への手紙の作者が思い出させてくれるように、私たちには永遠の御国が与えられています。私たちの行ないや言葉のすべてが、神様にご栄光を帰するような生き方をしましょう。それが真の心からの礼拝です。

讃美歌 392

祈り 愛する神様、あなたとともに生きるこの名誉と特権をよく理解することができますように。私たちのすべての行動と言葉があなたへの愛と感謝を示しますように。すべてのことが、あなたにご栄光を帰するためになされますように。イエス様のお名前において。アーメン。

アール D. ラベンダー
テネシー州、ブレントウッド

4月5日(水)

敵から救い出してください

聖書朗読 詩篇 26

私の足は平らな所に立っています。私は、数々の集まりの中で、主をほめたたえましょう。
詩篇 26 : 11

今の時代は、第二次世界大戦後の歴史の中で最も不安な時期かもしれません。戦争は激しさを増し、経済はぐらつき、教会のすべてがしっかりと立っているわけではありません。何百万人もの政治難民が敵と破壊から逃れています。霊的な難民が崖にしがみついたり、多くの人が絶望と混乱の海に投げ出されています。人々が「神様はどこにいるのか」と尋ねます。恐怖と苦悩の中で神様に叫ぶのは、私たちが最初でも最後でもありません。

イエス様は人類の唯一の希望です。詩篇 26 篇で「私は最善を尽くしました。私は敵と戦ってきましたし、罪を犯したときがあることも知っています。神様、あなたは私を許し、私の敵に対して私を弁護してくださいました」と言っているダビデがその良い例で、神様が私たちと一緒にいてくださることを確信できます。

神様は、ご自身に従う者を祝福してくださいます。神様の戒めは、神様が私たちに望んでいらっしゃる人生を形作り、神様に従うことを選択した人は、あらゆる苦闘において神様がともにいてくださることを保証されています。勇気を持ち、そして神様が身近にいてくださることを覚えましょう。この世は私たちの最終目的地ではありません。

讃美歌 338

祈り お父様。私たちに信仰を与えてください。あなたがいつも私たちとともにいてくださることを信じ、そしてイエス様の御名によって絶えず祈りながら、神様を信じて前進します。イエス様の御名においてお祈りします。アーメン。

ウイリアム E. マクドノー
オーストリア、ザルツブルク

4月6日(木)

神様を抛り頼む

聖書朗読 詩篇 33:16~17

心を尽くして主を抛り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どころにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

箴言 3:5~6

神様は、信頼を強調する必要があることをご存じでした。言い方は異なりますが、神様に抛り頼みなさいという忠告は、最初に見逃しても、要点がわかるように何度も繰り返されています。

神様に抛り頼むことの基本はこうです。無条件で神様に頼るということです。ほかの何ものも、誰も頼らないということです。自分自身も、政治的指導者も、軍事力も、富も頼りません。

神様に抛り頼むと神様は完全に頼れるお方であることがわかり、信頼すると信頼して間違いのないお方であることを証明してくださり、真に頼りになるお方で、決して私たちを失望させることはありません。また自分の全体重をおかけしても、しっかりと支えてくださいます。

今日の聖書の箇所は、私たちの助けであり盾である主への誤った信頼を対比させています。詩篇の作者は、私たちが主を恐れ、主を待ち望み、主を喜び、主をご信頼するように私たちに勧めています。

讚美歌 280

祈り お父様。あなたをご信頼できるお方であることをたたえます。あなたは、私たちを決してお見捨てにはなりません。どのような状況にあっても、私たちがあなたのご誠実さを映し出すことができますように助けてください。イエス様のお名前を通してお祈りします。アーメン。

デヴィッド・ギブソン
テキサス州、コマース

4月7日(金)

義なる人

聖書朗読 詩篇 37:23~31

あなたの重荷を主にゆだねよ。主は、あなたのことを心配してくださる。主は決して正しいものが揺るがされるようにはなさない。 詩篇 55:22

ダビデは敵に囲まれていました。ダビデは主に来る日も来る日も敵のことを話し助け出してくださいるように懇願していました。それだけでなく、不安な気持ちとお願いを主に信頼する言葉で語りました。

詩篇 16篇5節から8節でダビデはこう語りました。「主は、私へのゆずりの地所、また私の杯です。あなたは、私の受ける分を、堅く保ってくださいます。測り綱は、私の好む所に落ちた。まことに、私への、すばらしい譲りの地だ。私は助言を下さった主をほめたたえる。まことに、夜になると、私の心が私に教える。私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。」

ダビデの言葉は、私たちには大切なものです。彼の神様に信頼を寄せている言葉の数々は私たちを強め、主を信頼する力をより高めてくれます。彼の聡明な言葉は、私たちを励ましてくれます。聞いている人にとってはどの言葉も大切なのですから、私たちも聡明な言葉で話したいものです。あなたが話したことをそのまま他の人に話す人もいるのですから。

ダビデのような信頼と自信を誰かと分かち合うなら、少量の恐れと大量の平和で満ちた人生を歩むことでしょう。

讚美歌 271

祈り 親愛なる主よ。恐れながら生きるのではなく、あなたが義の道に導いてくださると信頼して生きるように助けてください。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

スー・レイサム

4月8日(土)

砂時計の砂のように

聖書朗読 詩篇 39:1~6

私の一生は、あなたの前ではないも同然です。

詩篇 39:5

ある何年も続いているお昼のメロドラマは、悲劇を匂わすこのくだりで始まります。「私たちの人生は、砂時計の砂のように過ぎていく。」砂時計は砂がなくなることによって時間の経過が分かります。しかし、この頃は時間を計るのに砂時計を使うことはあまりしなくなりました。それと同じように、1分ごとのカチッという音が鳴る時計もあまり見かけなくなりました。また、1時間ごとにボーンボーンとなる時計も稀です。ですから、私たちは時間の経過に敏感でなくなっているかもしれません。しかし、時計の音はしなくても、私たちの時間は確実に過ぎ去っていきます。その音を無視して時間が経過しないような思いで何となく日々を過ごすこともできますし、詩篇の作者のように神様に大切な時間を賢く使うように助けていただくこともできます。

神様の聖なるみことばによれば、賢い時間の使い方というのはバランスが取れています。礼拝、誰かに愛の奉仕をすること、健康管理、適度な休憩、家族との約束を守ること、休暇、感謝の気持ちを持つことなどは、時間を活かすものとなることでしょう。

過去を振り返ってみますと、家族の愛や困難や喜びに満ちた年月でした。今になってみると、その時間は「一息」のようなものでした。毎日がとてつもなく早く過ぎて行くので、神様のバランスの取れたお手本を意識しないと、ただ単に達成感のない一日を再び過ごしてしまうことになってしまいます。今日はもう二度とない日なのです。大切にいきましょう。

讃美歌 90

祈り 親愛なる主よ。私たちの日々が束の間であると悟ります。ですから、時間の贈り物に感謝いたします。キリストによってバランスの取れたものになるように今日一日全力をささげることができますように。イエス様のお名前によってお祈りしています。アーメン。

バージル・フライ
テキサス州 ヒューストン

4月9日(日)

奇しいみわざ

聖書朗読 詩篇 40:1~5

わが神、主よ。あなたがなされた奇しいみわざと、わたしたちへの御計りは、数も知れず、あなたに並ぶ者はありません。私が告げても、また語っても、それは多くて述べ尽くせません。
詩篇 40:5

ペルーのマチュ・ピチュとインカの遺跡を見に行きました。かつては建物の一部であり調査され部分的に再建された部屋もある巨大な石を登ったとき、アンデスの山に大量の建造物を作り上げた古代の人の技術力に驚きました。どうやって石を山の上に運んだのでしょうか。その目的は何だったのでしょうか。なぜ遺棄されてしまったのでしょうか。全てが謎でした。そして、それは人間の創造性による最高傑作です。

突然、一緒に旅行していた女性が叫びました。「早く来て！」怪我でもしたのではあるまいかと、急いで行きました。すると、彼女は壁の角の方を指差しニコリしていました。そこにはラマがいてお産の最中でした。私たちが子ラマが生まれるのを見守り、子ラマが自分の足で立ち上げるのを見届けました。私は畏敬の念に打たれ、あらゆる創造性を生じさせた神様にお仕えしているのだと改めて思いました。神様の素晴らしい創造はラマだけではなく、古代の大工さんであったり、マチュ・ピチュの住人たちも神様に創造された者たちでした。

詩人ダビデが神様の奇しいみわざは多すぎて言い尽くすことができないと言った通りです。創造主をあがめ讃美いたしましょう。

讃美歌 II45

祈り 親愛なる神様であり造り主なる方よ。あなたの素晴らしいみわざと大いなる奇しさをほめたたえます。あなたに似せて造られたもの一人として、あなたのご計画と目的に沿って生きることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州 オースティン